

物価高騰対応等経済対策事業一覧表

(令和8年6月26日現在)

総務部 企画調整課

(単位：千円)

物価高騰対応等経済対策事業		金額
世帯や個人対象		1 4 1 , 8 0 5
中小・小規模事業者等対象		1 6 9 , 0 0 3
その他		0
計		3 1 0 , 8 0 8
財 源 内 訳	国庫補助金	0
	県補助金	0
	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	3 1 0 , 8 0 8
	財政調整基金繰入金	0
	地域振興基金繰入金	0
	市債	0
	一般財源等	0

●物価高騰対応等対策事業(①世帯や個人対象)

所管	事業名等	内容等	予算	予算額 (単位:千円)	対応
学校教育課	学校給食費物価高騰対策補助金	食材の価格高騰による給食の質及び量の保持と保護者負担の軽減を図るため、給食材料費値上げ相当分の補助を行う。 R8年度生徒数(予定)×R7年度からの値上がり相当分×食数 小学校 2,184人×99円×193食=41,730千円 中学校 1,222人×99円×193食=23,349千円 合 計 65,079千円	当初	65,079	市単独 (臨交65,079)
		R8年度生徒数(5/1現在)×保護者負担額(平均)×食数 小学校 2,160人×45円×123食=11,956千円 中学校 1,176人×376円×123食=54,388千円 合 計 66,344千円	6月専決	66,344	市単独 (臨交66,344)
子ども課	大館市保育所等物価高騰対策事業費補助金	食材の価格高騰による給食の質及び量の保持と保護者負担の軽減を図るため、給食材料費への助成を行い、給食費の値上げを抑制する。 ・補助金 私立分 13,200円×49人=646,800円 13,800円×95人=1,311,000円 16,200円×415人=6,723,000円 公設分 16,200円×105人=1,701,000円 合 計 10,381,800円 ・対 象 私立分 10施設 公設分 4施設(認可4) ※へき地保育所は給食なしのため対象外	当初	10,382	市単独 (臨交10,382)
計				141,805	

●物価高騰対応等対策事業(②中小・小規模事業者等対象)

所管	事業名等	内容等	予算	予算額 (単位:千円)	対応
農政課	大館市乾燥調製施設利用促進対策支援事業費補助金	光熱費や人件費の高騰に伴い、当市に所在するカントリーエレベーターやライスセンターの利用金額が上昇していることから、施設の利用料金について支援する。施設利用により、乾燥調製の効率化による燃料費の抑制や、水稻作付面積の拡大が見込まれる。 補助率 R4年度まで1,500円/60kg、R5年度以降1,700円/60kg 差額200円に対する支援 補助金額 3,000,000.0kg ÷ 60kg × {(1,700円 - 1,500円)} = 10,000千円	当初	10,000	市単独 (臨交10,000)
	大館市農産物販売強化支援事業	燃料・物価高騰により、農産物の生産に要する経費が増加する中、本市における農産品について、都市部へECサイト等をはじめとした直接販売やブランディングによる付加価値向上に対し支援を図ること、農業所得の向上を図る。 補助率 3分の2以内(30万円上限) 300千円 × 10件 = 3,000千円	当初	3,000	市単独 (臨交3,000)
	大館市雪害復旧緊急支援(水稻苗価格高騰対策)事業	①令和7年12月からの豪雪による水稻用育苗用パイプハウスが倒壊したことに加え、資材価格や燃料費等の高騰により、水稻苗の生産・調達コストが増加している。水稻苗の価格上昇を抑制し農業者の負担軽減を図るため、水稻苗の購入費について支援する。 ②補助金 ③補助率 価格上昇分170円の内、154.5円(税抜)の1/2を支援する。 ・補助金額 苗数220,000枚 × 価格上昇分154.5円 × 補助率1/2 ④市内の水稻苗供給事業者から購入した農業者	4月専決	17,000	市単独 (臨交17,000)
	大館市水稻用肥料価格高騰対策支援事業	①肥料価格の高騰対策として、農業経営体が行う肥料の使用量抑制機能を有する機械の導入を支援する。 ②補助金 ③補助対象: 肥料の使用量抑制機能を有する田植機の導入経費 施肥量抑制機能(※)を有する田植機(全層施肥と比較し10%以上低減できるもの。側条施肥、可変施肥など。) ・補助率: 1/2以内(上限200万円) ・補助対象数: 10台 ・補助金額: 2,000千円 × 10台 ④認定農業者又は新規就農者	6月追加	20,000	市単独 (臨交20,000)
	比内地鶏生産支援事業(物価高騰対応)	①長引く物価高騰の影響を受け、比内地鶏の需要の減退及び経費負担の増加に伴い、比内地鶏生産者の収益確保が急速に悪化し、経営の存続が危機的状況にあることから、素雞の調達負担を軽減するため、素雞価格の抑制を図る。 ②補助金 ③補助率 事業者前年度決算から設定が望まれる素雞販売単価を算出432.24円(税抜)、R8/4現在販売単価380円(税抜)との差額分52.24円を補助単価に設定。 ・補助金額 出荷羽数180,000羽(前年度実績) × 補助単価52.24円 ④市内に本社を有する比内地鶏の素雞供給事業者(生産者への販売単価の据置を図ることにより生産意欲の維持と離農の防止を図る)	6月追加	9,403	市単独 (臨交9,403)
	大館市とんぶり製造用機械等整備支援事業(物価高騰対応)	①物価高騰の影響を受けている本市特産物のとんぶりやその他作物を活用した加工品について、その製造や加工の生産性を向上させ、事業者の経営基盤の安定を図るため、機械又は施設の整備を支援する。 ②補助金 ③補助対象: とんぶりやその他作物の加工品製造に使用する機械・施設の整備 補助対象経費: 補助対象機械の導入経費 補助率 ・とんぶり加工品製造 1/6以内(上限8,000千円) 44,400,000円 × 1/6 ・その他作物加工品製造 1/12以内(上限4,000千円) 7,200,000円 × 1/12 補助見込額 7,400千円 + 600千円 = 8,000千円 ④市内のとんぶり製造・加工事業者	6月追加	8,000	市単独 (臨交8,000)

所管	事業名等	内容等	予算	予算額 (単位:千円)	対応
商工課	物価高騰対策中小事業者経営強化・革新事業	物価高騰の影響を受けている中小事業者のコスト低減や生産性向上などの取組みを支援し、事業者の経営基盤の強化につなげる。 ・中小事業者GX推進事業 26,000千円 ・中小事業者DX推進事業 38,500千円 ・地域ブランド創出・拡大事業 15,000千円 ・物流事業者支援事業 6,100千円 ・事務費 650千円 合 計 86,250千円	当初	86,250	市単独 (臨交86,250)
観光課	農泊施設観光客受入整備事業補助金(物価高騰対応)	エネルギーや物価高騰の影響を受けている農泊事業者や、これから農泊を始めようとしている事業者が、観光客の受入体制を整備する目的で施設を整備する費用の一部を助成することにより、エネルギー及び物価価格高騰に対する影響を緩和する。 補助上限額 4,000千円×2件×1/2=4,000千円	当初	4,000	市単独 (臨交4,000)
	特産品販路拡大支援事業補助金(物価高騰対応)	物価の高騰等により、市内事業者の経営環境が厳しい状況のなか、意欲的に市特産品の新たな市場開拓に取り組む事業者の販路開拓の負担を緩和し、本市産業振興の活性化と発展に寄与する。 補助上限額 300千円×5件=1,500千円	当初	1,500	市単独 (臨交1,500)
	歴史・食文化継承イベント物価高騰支援事業補助金	①地域の歴史や文化を継承する目的として行う大規模イベント「本場大館きりたんぼまつり」において、特に物価高騰の影響が著しい会場設営費等の費用のほか、誘客を見据えた施策の一部を助成することにより、従前通りの開催が見込まれ、交流人口の拡大、地域経済の循環が図られるとともに、地域の歴史・文化を継承していく。 ②補助金 ③補助上限額 物価高騰局面以前(R4)と直近(R7)との差額の1/2を補助 (R7)47,034千円－(R4)39,565千円×1/2≒3,500千円 ④大館食の祭典協議会	6月追加	3,500	市単独 (臨交3,500)
都市計画課	公共交通事業者等支援事業費助成金	①市民の多様な移動ニーズや地域経済を支える不可欠な交通インフラを維持するため、物価高騰に伴い厳しい経営状況にある市内の交通事業者等を支援する。 ②補助金 ③(1)路線バス40,000円/台 75台 (2)タクシー30,000円/台 85台 (3)随伴用登録車両20,000円/台 40台(代行) ④市内に本社または営業所を有する交通事業者等	6月追加	6,350	市単独 (臨交6,350)
計				169,003	